

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書（Web 公開用）

申請者（ふりがな）	西口 直輝 （ にしぐち なおき ）
所属・資格（※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載）	学部課程 4 年
発表年月 または事業開催年月	2025 年 5 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	第 79 回日本栄養・食糧学会大会
発表者（※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること）	西口直輝、鹿島愛理、新藤乃彩、上村美優、丸亀裕貴、矢野敏史、大江健一、卯川裕一、原太一
発表題目（※学会発表の場合のみ記載）	ウロリチン A による腸管上皮細胞におけるオートファジー活性化作用とその作用メカニズムの解析
発表の概要と成果（抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。） 近年、国内外問わず高齢化が進む中で、食の観点から健康寿命の延伸にアプローチする研究が盛んに行われている。ウロリチン A はザクロやナッツに含まれる天然成分であり、抗酸化作用や抗炎症作用などを有することから、機能性食品として注目されている。ウロリチン A は、細胞内のリサイクリングシステムであるオートファジーを活性化することが明らかになっている。しかし、そのメカニズムなどに関する知見は限られている。本研究では、ウロリチン A がオートファジーを活性化する、その作用メカニズムを明らかにすることを目的とした。 本学会大会において、ウロリチン A によるオートファジーの活性化経路に関して発表を行った。ウロリチン A による健康増進、ひいては治療を通じた健康寿命延伸の科学的基盤の構築に貢献したと考えている。	

※無断転載禁止